

## 令和3年度八郎潟町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、全水田面積に占める主食用米面積の割合が令和2年では約64%であり、転作作物は加工用米、備蓄米、大豆、枝豆が多く、土地利用型作物の担い手への集積が進んでいる。

主食用米の全国ベースの需要量は毎年10万トンずつ減少している傾向にあることから、主食用米からの作付転換を図り、輸出用米等の主食用米以外の作物を推進し、水田面積を維持していく必要がある。

一方、農家の高齢化が進んでおり、農家戸数の減少が見られるとともに、不作付地の拡大が進んでいる。

そのほか、大豆については排水不良、土壌酸性化などによる単収の低下が問題となっている。

また、前年度に引き続き、高岡地域でほ場整備工事が行われるので、次作に向けた作物の生産性を向上させるため、産地交付金を利用した支援を行っていく。

### 2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

地域の主な転換作物は大豆と枝豆であるが、近年需要が高まっている高収益作物について、集荷業者の奨励品目であるキャベツ・ホウレンソウ・南瓜・セリ・ナスと、県が振興する作物である枝豆・ネギ・アスパラガスを振興品目としつつ、その他の一般野菜と果樹についても集荷業者・農産物直売所と協調しつつ、産地交付金を活用し生産拡大を図る。県の重点推進野菜であり当町の振興作物でもある枝豆においては、共同選別施設による集出荷の取組や排水対策等の取組を実施し県推進枠の活用により生産性の向上及び継続的な安定販売を図る。

### 3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

地域では大豆や枝豆等の転作作物の作付と、加工用米、輸出用米、米粉用米等の非主食用米作付の振り分けを協議会事務局にて行い農家に説明して選択してもらっている。現在畑地化については実績及び取組予定がないが、地目変更も必要となるため希望者に備えて農業委員会とも協議して対応を進める。なお、水田の点検については、転作確認時に行う予定。

### 4 作物ごとの取組方針等

#### (1) 主食用米

売れる米作りの徹底によって、米の生産地としての地位を確保する。前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ、需要に応じた生産を行う。また、中食・外食のニーズに対応した業務用米の生産と安定取引の推進を図る。

#### (2) 備蓄米

政府買い入れに係る入札数量に応じて、主食用米にかわる作物として、作付面積を拡大する。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

現在作付農家がないが、水田活用の直接支払交付金を活用しながら、地元の集荷業者と連携し令和3年から飼料用米の作付を促し、複数年契約へと誘導し生産拡大を図る。

イ 米粉用米

水田活用の直接支払交付金を活用しながら、地元の集荷業者と連携し令和2年から米粉用米の作付を実施しているが、複数年契約の農家がないため、実施農家と話し合いをしながら複数年契約へ誘導し、生産拡大を図る。

ウ 新市場開拓用米

水田活用の直接支払交付金を活用しながら、地元の集荷業者と連携し平成30年から新市場開拓用米の作付を実施し、複数年契約も視野に生産拡大を図る。

エ WCS用稲

取組予定なし

オ 加工用米

水田活用の直接支払交付金を活用しながら、地元の集荷業者と連携しつつ加工用米の作付を推進し、生産拡大を図る。

(4) 麦、大豆、飼料作物

麦については、取組予定なし。

大豆については、米の需給調整が増大する中、当町では旧戸別所得補償制度実施前に200ha程の実績があった大豆団地面積が毎年減少し崩壊してきている現状を踏まえ、産地交付金を活用して、60a以上の連坦と更に2.2ha以上の2段階の団地化による低コスト生産の取組を推進し現行の作付面積の維持・拡大を図る。

また、県推進枠を活用した収益力の向上及び継続的な安定販売を図る。

飼料作物については取組予定なし。

(5) そば、なたね

そばについては、作付している農家がいるが出荷・販売までは至っていないため生産の拡大計画はない。なたねについては、取組予定なし。

(6) 高収益作物

集荷業者の奨励品目であるキャベツ・ホウレンソウ・南瓜・セリ・ナスと、県が振興する作物である枝豆・ネギ・アスパラガスを振興品目としつつ、その他の一般野菜と果樹についても集荷業者・農産物直売所と協調しつつ、産地交付金を活用し生産拡大を図る。

県の重点推進野菜であり当町の振興作物でもある枝豆においては、共同選別施設による集出荷の取組や排水対策等の取組を実施し県推進枠の活用により生産性の向上及び継続的な安定販売を図る。

(7) その他

基盤整備事業を実施した水田は、地力が低下することから、地力増進作物を作付した後すき込むことで地力を回復させ、翌年度以降の作物の収益力向上を図る。

## 5 作物ごとの作付予定面積等

作物等	前年度作付面積等 (h a)	当年度の作付予 定面積等 (h a)	令和5年度の作付 目標面積等 (h a)
主食用米	693.11	684.00	664.00
備蓄米	146.31	149.00	159.00
飼料用米	0.00	1.00	2.00
米粉用米	3.06	3.06	3.66
新市場開拓用米	1.95	1.95	2.55
W C S用稲	0.00	0.00	0.00
加工用米	60.82	65.00	75.00
麦	0.00	0.00	0.00
大豆	76.84	80.00	90.00
飼料作物	0.00	0.00	0.00
・子実用とうもろこし	0.00	0.00	0.00
そば	0.01	0.01	0.01
なたね	0.00	0.00	0.00
高収益作物	51.43	55.24	57.84
・野菜	50.95	54.76	57.36
枝豆	31.01	33.00	34.00
キャベツ	0.15	0.15	0.15
ネギ	1.25	1.25	1.25
ハウレンソウ	0.00	0.03	0.03
アスパラガス	0.01	0.01	0.01
南瓜	5.94	7.00	8.00
セリ	0.04	0.04	0.04
ナス	0.93	1.10	1.20
オクラ	0.17	0.17	0.17
きゅうり	0.28	0.28	0.28
にんじん	0.06	0.06	0.06
インゲン豆	0.11	0.11	0.11
ピーマン	0.13	0.13	0.13
たまねぎ	0.41	0.50	0.60
とうもろこし	0.33	0.40	0.50
トマト	1.62	1.80	1.90
メロン	0.03	0.03	0.03
スイカ	0.08	0.30	0.50
ばれいしょ（食用品種）	0.56	0.56	0.56
みょうが	0.18	0.18	0.18
その他野菜	7.66	7.66	7.66
・花き・花木	0.00	0.00	0.00
・果樹	0.48	0.48	0.48
いちじく	0.48	0.48	0.48
・その他高収益作物	0.00	0.00	0.00
その他	4.38	7.60	7.60
・地力増進作物	4.38	7.60	7.60
レンゲソウ	0.00	1.00	1.00
クローバー	4.38	6.60	6.60
畑地化	0.00	0.00	0.00

## 6 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	用途名	目標	目標	
				前年度（実績）	目標値
1	大豆（基幹作物）	大豆団地助成	作付面積 (交付対象面積) 60a以上2.2ha未満団地面積 2.2ha以上団地面積 (団地化面積の品質区分割合) ≪ 2等/3等/合格 ≫	(令和2年度) 76.84ha	(令和5年度) 90.00ha
				25.51ha 40.89ha 20%/75%/5%	27.00ha 44.00ha 25%/74%/1%
2	枝豆（基幹作物）	枝豆助成	作付面積 (交付対象面積)	(令和2年度) 31.01ha 30.15ha	(令和5年度) 34.00ha 33.00ha
3	キャベツ、ネギ、 ハウレンソウ、ア スパラガス、南 瓜、セリ、ナス (基幹作物)	地域振興作物助成	作付面積 (交付対象面積)	(令和2年度) 8.32ha 1.11ha	(令和5年度) 10.68ha 3.25ha
4	一般野菜、果樹 【別紙4のとおり】 (基幹作物)	野菜及び果樹助成	作付面積 交付対象面積 露地栽培 施設栽培	(令和2年度) 12.10ha 1.68ha 1.08ha 0.60ha	(令和5年度) 13.16ha 4.50ha 3.50ha 1.00ha
5	新市場開拓用米、 加工用米、枝豆、 キャベツ、ネギ、 ハウレンソウ、ア スパラガス、南 瓜、セリ、ナス、 一般野菜、果樹 【別紙2のとおり】 (基幹作物)	高収益作物等の面積拡 大への助成	作付面積 (交付対象面積)	(令和2年度) 114.2ha -	(令和5年度) 134.79ha 21.00ha
6	新市場開拓用米、 加工用米、大豆、 枝豆、キャベツ、 ネギ、ハウレンソ ウ、アスパラガ ス、南瓜、セリ、 ナス、一般野菜、 果樹【別紙2のと おり】（基幹作物）	転換作物の面積拡大へ の助成	作付面積 (交付対象面積)	(令和2年度) 191.04ha -	(令和5年度) 224.79ha 21.00ha
7	レンゲソウ、ク ローバー（基幹作 物）	基盤整備地力増進作物 助成	作付面積 (交付対象面積)	(令和2年度) 4.38ha 4.38ha	(令和5年度) 7.60ha 7.60ha
8	飼料用米、米粉用 米（基幹作物）	飼料用米、米粉用米 複数年契約助成		(令和2年度)	(令和5年度)
			・ 飼料用米		
			作付面積 (交付対象面積)	0ha・0t 0ha・0t	2.00ha・10.0t 1.00ha・5.4t
			・ 米粉用米		
作付面積 (交付対象面積)	3.06ha・16t 0ha・0t	3.66ha・19t 3.66ha・19t			

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内として下さい。

## 7 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。